

講義シラバス

科目名	プロフェッショナルの道	必修 選択の別		開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	15 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年	1年生		
講師名	岩瀬 太秀	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校卒業後、美容師、美容商社勤務を経て札幌ベルエポック美容専門学校の職員として勤務、現在に至る。						
【授業を通じての到達目標】									
職業人としての自立を目指しながら将来像を明確にする。 ヘアメイク・ファッションのプロとしての成長、コミュニケーション能力の向上、実習準備・振り返りを通して業界で活躍する人間性を確立する									
【学習内容】									
就職活動を行うための準備として自分自身の確認を行う、他者を受け入れる心を持つ									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画				日時	授業計画			
⑯ (9/24)	【到達目標】 ☆現在地を確認して修正の目標や到達点を考える ○自分の将来のプランニングシートを作成(グループワーク、プレゼン)				⑳ (11/26)	【到達目標】 ☆コース分けガイダンスに備えて準備を進め、自分の将来の目標に向け思いを確立する ○2年次専攻別の内容告知			
⑰ (10/1)	【到達目標】 ☆就職先アンケートを実施して、気持ちの整理を行い、自分の将来について考える ○アンケート実施 ○調べ学習				㉑ (12/10)	【到達目標】 ☆コース分けガイダンスを経て、さらに自分の将来を明確にする ○就職希望先調べ学習 ○就職アンケート実施 ※目標設定④			
⑱ (10/8)	【到達目標】 ☆社会人基礎力を学び、現場・社会に出たときに即戦力になれる行動ができるようになる ○社会人基礎力 ○現場での動き方				㉒ (12/17)	【到達目標】 ☆お金の流れを理解し社会に出る準備を出来るようになる ○マネー教育、マネーの基本 ○冬休みの過ごし方			
㉓ (10/15)	【到達目標】 ☆資格取得に向け励む、クラス会議からクラスの連携を再確認する ○CSU集中授業① ○クラス会議③				㉔ (1/21)	【到達目標】 ☆コース分けが決まり、来年度の目標を設定する ○冬休み振り返り ○1年の振り返り学習 ○目標設定			
㉕ (10/22)	【到達目標】 ☆履歴書を作成し、就職意識を高める ○履歴書作成 ○就職希望先に合わせた就活の仕方				㉖ (1/28)	【到達目標】 ☆1年で身に付けた技術を発揮するために、学内コンテストに向けて準備を進める ○学内コンテストについて			
㉗ (10/29)	【到達目標】 ☆作品づくりの重要性、SNSの重要性を知り、就職活動に活かせる動きができるようになる ○先輩方の作品を見る ○感想・意見を持ち寄りグループワーク				㉘ (2/4)	【到達目標】 ☆定期試験にむけ、現状の把握、動きを確認する ○試験内容確認 ○クラス会議④			
㉙ (11/5)	【到達目標】 ☆就職に向けて個人のモチベーションアップを図り、自ら率先して動けるようになる ○ベルコンについて ○先輩たちの就活の動きを知り、自分に当てはめる				㉚ (2/11)	【定期試験】50 ☆1年間の振り返りと目標設定が出来る様になっている ○定期試験(1年間のまとめ) ○目標設定プレゼン			
㉛ (11/19)	【到達目標】 ☆自分の意見を他者に明確に伝える。他者の意見を受け入れるようになる ○コンテスト振り返り ○振り返り共有 ○グループワーク・発表				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	メイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	アトリエ/サトウ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
テーマに基づき、イメージ通りのメイクをすることができるようになる									
【学習内容】									
テーマに基づきコンセプトシートを作成し、イメージ通りのメイクができるようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ファッション雑誌、メイク道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
⑯ (9/27)	【到達目標】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになるコンセプトシートを作成し、イメージ通りのメイクができるようになるトレンドメイク（マキア、美的ETC...）				⑳ (12/6)	【到達目標】 お客様の要望に合わせたメイクができるようになる（トレンドメイクをテーマにコンセプトシートを作成し、相モデルで行う）			
⑰ (10/14)	【到達目標】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになる				㉑ (12/13)	【到達目標】 お客様の要望に合わせたメイクができるようになる（トレンドメイクをテーマにコンセプトシートを作成し、相モデルで行う）			
⑱ (10/11)	【到達目標】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになる（コンセプトシートを作成し、ハイライト、シェーディングの入れ方をセルフメイクで行う）				㉒ (12/20)	【到達目標】 お客様の要望に合わせたメイクができるようになる（トレンドメイクをテーマにコンセプトシートを作成し、相モデルで行う）			
㉓ (10/18)	【到達目標】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになる相モデルでハイライト、シェーディングを入れたメイクができるようになる				㉔ (1/17)	【到達目標】 お客様の要望に合わせたメイクができるようになる（卒業式を想定した振袖をテーマにコンセプトシートを作成し、相モデルで行う）			
㉕ (10/25)	【到達目標】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになる（コンセプトシートを作成し、マットな肌作りを行う）				㉖ (1/24)	【到達目標】 お客様の要望に合わせたメイクができるようになる（卒業式を想定した袴をテーマにコンセプトシートを作成し、相モデルで行う）			
㉗ (11/1)	【到達目標】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになる相モデルでマットな肌のメイクをできるようにする				㉘ (1/31)	【到達目標】 お客様の要望に合わせたメイクができるようになる（謝恩会、結婚式、二次会などのパーティメイクをテーマに、相モデルで行う）テスト練習			
㉙ (11/15)	【到達目標】 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになる（コンセプトシートを作成し、ツヤ肌の作り方をセルフで行う）				㉚ (2/7)	【定期試験】50 お客様の要望に合わせたメイクができるようになる（謝恩会、結婚式、二次会などのパーティメイクをテーマに、相モデルで行う）			
㉛ (11/22)	【到達目標】 小テスト4点 様々な年代の雑誌の特徴を理解し、メイクができるようになる相モデルでツヤ肌なメイクをできるようにする				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	SNSヘアメイク	必修 選択の別	選択	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60	時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生			
講師名	元山遥香	講師 プロフィール	2013年当サロン入社。2018年系列店Bud(バド)オープン。現在skill stylistとして技術指導、ビジュアル撮影のディレクターなどを担当。個性とトレンドを抑えた派手髪が口コミで話題に。札幌コレクションモデルメイク、一般企業でのヘアメイク講師も務める。							
【授業を通じての到達目標】										
SNSに載せるためのサロンスタイルやクリエイティブ作品を作成する。 自ら作品撮りができるようになる。カラーやシャンプーも学ぶ。										
【学習内容】										
SNSで映えるスタイル、個性を追求したクリエイティブ作品作り。トレンドヘアメイク、ファッション。撮影。 カラー、シャンプー、ブロー、現場で使える技術										
メイク道具一式。ヘアセット道具一式。携帯。					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
日時	授業計画			日時	授業計画					
① (9/27)	【到達目標】デザインの考え方を学ぶ。テイストを知ることができるようになる。 デザインの軸。基礎を学ぶ。自分のテイストを知る。			⑨ (12/13)	【到達目標】シャンプー技術 シャンプーができるようになる。サロン技術。					
② (10/4)	【到達目標】サロン撮影に必要な技術理解ができるようになる。 トレンドサロン撮影。ヘアメイクデモ。			⑩ (12/20)	【到達目標】撮影技術レベルアップができるようになる。 ポージング、背景。撮影デモ。モデル選び、ロケハンなど					
③ (10/18)	【到達目標】ブロー技術の基礎を理解できるようになる。 ブロー。アイロンを使わないスタイリング。撮影、			⑪ (1/17)	【到達目標】チームでつくる撮影を行いチームワーク力を身につけることができる チームで撮影計画。3人1組で1作品。					
④ (10/25)	【到達目標】トータルバランスを理解できるようになる。 ヘアメイクファッション。年代別コーデ。			⑫ (1/24)	【到達目標】 チーム撮影を行いチームワーク力を身につけることができる					
⑤ (11/1)	ブリーチの塗布技術を学びできるようになる。 カラーブリーチ。			⑬ (1/31)	【到達目標】メンズセット技術を理解し実践できるようになる。 メンズセット。					
⑥ (11/15)	【到達目標】オンカラーデザインカラー技術を学びできるようになる ブリーチベースのカラーオンカラー。			⑭ (2/7)	【到達目標】 定期テスト作品撮りの計画をできるようにする。					
⑦ (11/22)	【到達目標】クリエイティブの理解ができるようになる。 クリエイティブ作品作り。クリエイティブの考え方。			⑮ (2/14)	【定期試験】50 定期テスト。テーマに沿った作品撮り。					
⑧ (12/6)	【到達目標】クリエイティブヘアメイクでスキルアップ クリエイティブ撮影ができるようになる。			【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。						
【履修に当たっての心構え・留意点】										

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	對馬 友理	講師 プロフィール	札幌市内の美容室勤務後、フリーランスヘアメイクとして活躍。 広告、CMを中心にモデル、タレント、アーティストのヘアメイクを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
現場実習に備えて、クライアントやお客様に対するマナー、技術を身につける。									
【学習内容】									
アシスタントとして必要な知識や技術を身につける。 ヘアセットのバリエーションを増やす。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具、ヘア道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
①	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑨	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【到達目標】 アイドルチームヘアメイクを想定し、ヘアアレンジをする					【目標達成】 メンズヘアメイク			
②	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑩	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【到達目標】 アイドルチームヘアメイクを想定し、ヘアアレンジをする					【目標達成】 メンズヘアメイク（外部から男性モデル希望。最低5名。以前はmistに依頼）			
③	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑪	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 エキストラヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジをする 時間を意識したトレーニング					【目標達成】 メイクスキルアップ、実技、知識			
④	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑫	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 エキストラヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジをする 時間を意識したトレーニング					【目標達成】 メイクスキルアップ、実技、知識			
⑤	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑬	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 イベントブースのヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジのバリエーションを増やす					【目標達成】 セルフプロデュース ポートフォリオ作り、コラージュ作り（1人1つファイルを用意したい）			
⑥	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑭	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 イベントブースのヘアメイクの現場を想定し、ヘアアレンジのバリエーションを増やす					【目標達成】 定期試験トレーニング コンセプトシート、実技練習			
⑦	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				⑮	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する			
	【目標達成】 ヘアアクセサリ、小物を使ったヘアアレンジのバリエーションを増やす					【目標達成】 定期試験（相モデル） ネイル、リップでの作品撮影			
⑧	【授業テーマ】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
	【目標達成】 それぞれの現場に合わせたアシスタントの動作や身だしなみについて理解する 中間チェック								
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科			コース	HM	学年	1年生		
講師名	アトリエ/福士智子	講師 プロフィール	メイクアップアトリエは、CM 広告、TVなどの撮影現場やショー、舞台、ドラマプライダルなどのモデルやタレント、一般のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界4大コレクションの一つNYコレクションに参加、海外まで活動の場を広げているアーティストが14人が所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
プロとしてのヘアメイクを習得し、撮影のノウハウを学び作品撮りを行う。									
【学習内容】									
撮影のためのメイク方法やヘアアレンジ、メイズヘアメイクを学び、現場で適用する技術を習得する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/22)	【到達目標】撮影の仕事内容を知ることができるようになる オリエンテーション 授業の流れを知り、仕事の心構え持ち物などプロとして必要な事柄を理解する。				③(12/8)	【到達目標】イメージに合わせたヘアメイクが出来る。5点 「外人メイク」をテーマに相モデルでヘアメイク (60分)			
② (9/29)	【到達目標】ヘアセットを学びダウンスタイルができるようになる 相モデルで色々なダウンスタイルを作る。				⑩ (12/15)	【到達目標】イメージに合わせたヘアメイクが出来る。5点 「アート」をテーマに相モデルでヘアメイク (60分)			
③ (10/6)	【到達目標】トレンドメイクを学ぶ。3点 相モデルでトレンドメイクを学ぶ。				⑪ (12/22)	【到達目標】イメージに合わせたヘアメイクが出来る 定期試験のコンセプトを考え、コンセプトシートを作成する。			
④(10/13)	【到達目標】イメージに合わせたヘアメイクが出来る。5点 「韓国メイク」をテーマに相モデルでヘアメイク (60分)				⑫ (1/19)	【到達目標】コンセプト通りのヘアメイクを作る。施術者10点 テスト練習① (相モデル) トータルで仕上げる			
⑤(10/20)	【到達目標】イメージに合わせたヘアメイクが出来る。5点 「カラー」をテーマに相モデルでヘアメイク (60分)				⑬ (1/26)	【到達目標】コンセプト通りのヘアメイクを作る。施術者10点 テスト練習② (相モデル) トータルで仕上げる			
⑥ (10/27)	【到達目標】イメージに合わせたヘアメイクが出来る。5点 「浴衣」をテーマに相モデルでヘアメイク (60分)				⑭ (2/3)	【定期試験】50点 定期試験①カメラマンによる写真撮影 (1Fスタジオ)			
⑦(11/16)	【到達目標】イメージに合わせたヘアメイクが出来る。5点 「フルーツ」をテーマに相モデルでヘアメイク (60分)				⑮ (2/9)	【定期試験】50点 定期試験①カメラマンによる写真撮影 (1Fスタジオ)			
⑧(11/24)	【到達目標】イメージに合わせてヘアアレンジができる。5点 ヘアアクセサリーを使ってアレンジをする。				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価 (90~100点) / B評価 (80~89点) / C評価 (70~79点) / D評価 (60~69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	スキルアップヘアメイク I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科			コース	ヘアメイクコース	学年	1年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。 接客・社員教育などで寄与。その間に化粧検定1級を取得。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。 マネーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを営むとともに、企業研修や高校での模擬面接などを担当。						
【授業を通じての到達目標】									
エアブラシの特徴を学び、使い方をマスターする。 肌トラブルカバーなどのテクニックを習得する。									
【学習内容】									
エアブラシメイクの特徴を理解し、基本的な使い方を習得する。 イメージに合ったメイクを、知識と技術を活かし表現する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
エアブラシ機器、メイク落とし、メイク道具、ティッシュ、コットン・綿棒 水差し、タオル、ビニール袋、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (9/22)	エアブラシ機器の特徴を理解する 始業前後の準備及び身だしなみについて理解する				⑨ (/)				
② (9/29)	エアブラシメイクの基本的な使い方 エアブラシ用ファンデーションの特徴・ファンデーションの 色の出し方を習得する				⑩ (/)				
③ (10/6)	エアブラシメイクの基本的な使い方 エアブラシ用チーク/ハイライトの色の出し方を習得する				⑪ (/)				
④ (10/13)	エアブラシメイクの基本的な使い方 カラーミックス、ステンシルを使いアイブロウ・リップの描き 方を習得する				⑫ (/)				
⑤ (10/20)	エアブラシメイクの基本的な使い方 カラーミックスで色を作り、イメージに合わせアイシャドウ の入れ方を習得する				⑬ (/)				
⑥ (10/27)	エアブラシメイクの基本的な使い方 イメージに合わせメイクを仕上げる				⑭ (/)				
⑦ (11/16)	イメージに合わせトータルメイクで仕上げる				⑮ (/)	【定期試験】50			
⑧ (11/24)	【定期試験】50 定期試験:エアブラシメイクの基本的な知識と技術を活か し、コンセプトシートに合わせイメージにあった仕上がりの 確認				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、授業受講姿勢についての指導 必要項目は、メモを取る									

講義シラバス

科目名	スキルアップメイクⅡ(フェイシャル)	必修 選択の別		開講 区分	2S	授業 形態		総時間数	14 時間
学科	ヘアメイク科			コース		学年			
講師名	中城美香	講師 プロフィール	エステティシャン17年、エステサロン運営(市内2店舗)、美容関連イベント企画主催運営、自身のラジオ番組パーソナリティー、女性のための美容活動を幅広く行う。						

【授業を通じての到達目標】

現場におけるメイク時、クライアントに対して提示された仕事内容以上のことを提供・提案できるよう、実技としてどんなことが出来るかを学び、身につける。与えられた以上の価値の提供がマッサージやコミュニケーションによって可能ということを知る。あらゆる状況において臨機応変に対応できる能力を身につける。

【学習内容】

リンパマッサージ、ハンドマッサージ、リフトアップ、ヘッドマッサージ(肩～首)、むくみケア…等、クライアントのメイク時に可能なマッサージ法等の習得。食の指導。自分自身のスキンケア法、化粧品学・皮膚学等の知識習得。現場で活用できるコミュニケーション術。

【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具、ノート、オイル、タオル、手指消毒用アルコール、鏡、アレルギーのある人はいつも使用するオイル、フェイス乳液、クリーム等。
上記と授業で配布されたレジュメは毎回必ず持参すること。

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

必要時に随時課題提出有り

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (12/8)	～オリエンテーション～授業の目的と到達目標の確認。※小テスト シラバスの説明。現場において、できることの範囲を広げることで自身の仕事内容を濃くすることが出来ることを知る。美容に携わる立場の人間として、自身の肌ケア美容に興味をもつことの大切さを知る。授業の心構え・準備を整える。		
② (12/15)	現場におけるマッサージができるようになる①、それに合わせた注意事項。※小テスト リンパマッサージ、フェイスリフトアップ。メイク時に併用することでリフトアップ効果やくすみ解消効果等の手法の基本を学ぶ。		
③ (12/22)	現場におけるマッサージができるようになる②※小テスト ハンドマッサージ、ヘッドマッサージ(肩～首)、むくみケア、ホットタオルの使い方。フェイス以外のマッサージ法の基本を学ぶ。		
④ (1/19)	振り返りチェック。※小テスト ハンド～ヘッドのマッサージができるようになる。実技チェック。		
⑤ (1/26)	皮膚学、セルフスキンケア法、セルフエステ法※小テスト 自身のための正しいスキンケアを知ることで美容知識をより深め、美容に対するの関心を高める。肌の構造を知る。		
⑥ (2/2)	食、化粧品学。※小テスト 肌をつくるのは食であることの理解を深め、自身の食生活も見直す機会とする。同時に普段自分が使っている化粧品の成分を学び理解することができる。		
⑦ (2/9)	【到達目標】 定期試験(実技)(50点満点) ネック～フェイスラインのマッサージ実技テスト。		【定期試験】50
	【到達目標】		【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

毎回の小テスト対象 授業態度、学習意欲、忘れ物、遅刻等を含む